

《小学校中学年の部 優秀賞》

「ぼくのがまん」

有田市立宮原小学校 4年

西崎 にししき 俐雄 りお さん

新型コロナウイルスは初め中国で感せんされて広まりました。ぼくは、日本では広まらないだろうと考えていました。けれど、日本

にもコロナウイルスの感せん者が出てきて、どんどん広まってとうとう和歌山県にも新型コロナウイルスの感せん者が出てきました。その事を知ったぼくはきょうふ感に包まれました。なぜならぼくは、保育所の時、肺えんになって入院した事があったので、もしコロナウイルスにかかってしまったら死んでしまうかもしれないと思ったからです。

それから学校がとっぜん休校になり、習い事も休みになりたくさんのイベントも中止になりました。ぼくは、友だちにも会えないしコロナウイルスにもかかりたくなかったので外にはでれませんでした。初めは、テレビを見たりゴロゴロできたのでうれしかったけれど、だんだんする事もなくなってさみしくなってきました。そしてイライラしてきて、ぼくはお母さんに

「コロナウイルスのせいどこにもいけやんし友達どこにも遊びに行けやんやん。」

と、いいました。お母さんは、  
「なんのために学校を休みにしているのか考えてみな。みんなも遊びに行きたいのをがまんしているんやで。」

といいました。ぼくはちよつとムカついたけどそう言われてコロナウイルスに感せんしないようにがまんしてる子たちがほかにいるんだなと思いました。

四年生になって少しずつ学校に行けるようになって今までがまんしていたから友達に会えるようになってすごうれしかったです。学校では、コロナウイルスに感せんしないようにマスクをして席も少しはなしてじゅ業をしています。きゆうけい時間に外から帰ってきたらうがいや手あらいをこまめにしています。給食の時はとう明のゲージをつけています。今までとはちがう学校生活になり運動会も音楽会もありません。ぼくは、行事がなくなつてざんねんだけど学校に行つて、友達と会う事が出来るようになってうれしいです。

コロナウイルスはまだまだ毎日感せんがつづいてるのできけんなウイルスだと思えます。まだまだがまんしていかないといけない事もたくさんあると思います。早くコロナウイルスがなくなつていつもの生活にもどつてほしいです。